

第2回日田市中小企業振興推進会議委員発言記録（概要）

日 時：平成28年10月21日（金）14：00～

場 所：日田市役所4階 庁議室

【議題1 調査結果の報告について】

資料1により、「事業承継調査結果」について説明。

資料2により、「中小企業訪問調査結果」について説明。

（委員長）

- ・事業承継調査結果のポイントは、「廃業を検討している」と回答した割合が、商工会管内で26.7%、商工会議所管内でも18.6%と多いこと。廃業はやむを得ないのであれば、逆の手で創業支援をどうやっていくかが大事。日田市は創業支援講座を行っているのか。

（事務局）

- ・平成27年4月に創業支援事業計画をとっており、商工会議所、商工会が中心となって年に1回は講座を開いている。

（委員長）

- ・おおいたスタートアップセンターとは連携しているのか。

（A委員）

- ・商工会議所が同センターと連携してセミナーを開催している。

（委員長）

- ・同センターを大いに活用して、廃業を上回る創業件数となるように頑張してほしい。
- ・これらの調査結果を、これから検討する中小企業振興計画の中に、問題点として取り入れて、どう解決する施策を盛り込むかが大切である。

【議題2 中小企業振興計画の素案について】

資料3により、「日田市中小企業振興計画の素案」について説明。

（委員長）

- ・今後のスケジュールはどうなっているのか。最終案はいつまでに作成するのか。

（事務局）

- ・今年度中（H29年3月）に計画を策定したい。年内には素案をまとめて、12月～1月にパブリックコメントを実施したい。その結果を受けて修正を行い、最終案を作成したいと考えている。

（委員長）

- ・これから委員のみなさんに、素案について議論をしていただきたいところだが、内容が膨大であることから、すぐには意見が出にくいのではないかと思うので、次回の会議の2週間前までにご意見、ご提案を事務局へ提出いただき、それをまとめたものを次回、みんなで議論するという進め方で行きたい。少し時間を置いて整理した方が、よい意見が出て実のある議論ができると思う。

- ・目標値の項目についても、今あがっているものに限らず、日田市の中小企業の振興にとって大事と思われる指標があれば提案してもらいたい。
- ・委員のみなさんが提案した内容や指標が、計画に取り入れられると、今後、計画の進捗状況等を管理していく上で思い入れも強くなるだろう。

【議題3 その他】

(委員長)

- ・せっかくの機会なので、委員のみなさんから自由なご意見、感想をいただきたい。

(A委員)

- ・市内業者発注件数割合の目標値の設定について、市内中小企業の振興ためには、もう少し頑張ってもらいたい。

(B委員)

- ・アンケート結果については、日田市内の中小企業の実態が分かりやすくまとめられており、よく出来ていると思った。

(C委員)

- ・素晴らしい素案ができたと思う。
- ・少し話は脱線するかもしれないが、先般、市内の若い人たちが集まって話した内容を紹介したい。

日田市の経済を域内経済として考えると、今、一番問題なのは「人口減少」だととらえている。人口が減少することにより、域内のお金の流通も相当変わってくることが予想される。2040年には日田市の人口は5万3千人ということで、今から1万数千人激減し、高齢化の割合は増え、生産人口は減っていく。日田の特徴として、域外から仕事を持ってくるより域内で動くことが多いので、いかに人口減少を食い止めるかが最大の課題である。

その対策として、大事なのは「企業誘致」だと思われる。そうした中で、企業誘致等による新規雇用者数の目標値が、この5年間で147人しか増えないといのは問題ではないか。

となり町は今度、非常に大きな製造業の企業を誘致できたと聞いた。中津市はダイハツを誘致したおかげで2040年まで人口は減少せず、逆に微増する。日田市と大きく差がついてしまっている。日田中津道路が完成すると、日田市民はダイハツの下請け企業が誘致できると期待していたが、残念ながら日田市を通り越して福岡県内に大きい工場ができるそうだ。

日田市では中小企業振興基本条例をしっかりと推進し、域内経済を活性化して、その中で人口を増やしていかななくてはいけない。日田市民には、日田市がどの方向に動いているのか見えていない。日田市として人口減少に対してどのように考えているのかを示してもらえれば、市民も希望を持って仕事ができると思う。

(委員長)

- ・人口減少への対策は、親計画である日田市総合計画の中で議論がされると思うが、中小企業振興計画の議論の中でも、このような意見があり、中小企業の振興施策ではこのようにしていくといったことを、ぜひ総合計画を策定する会議に伝えてほしい。最終的に

は各方面からあがってきた施策をまとめて、総合的な対処方法として示してもらえると、市民に対して分かりやすいと思う。

(D委員)

- ・市の建設工市の市内業者発注件数割合の目標値はできるだけ上がるよう頑張してほしい。
- ・高校の進路指導の先生の意識がまだ低いのではないかと感じる。例えば、今まで求人を多く出している企業に安易に入れてしまう傾向があり、なかなか新たな企業に対して、中身を調べたりしてまでお世話をしてくれないところがある。また、まわりから見るとやめた方がいいのではと思う企業に入れてしまっって早期に離職してしまうといったこともある。とにかくどこかに入れてしまえばいいという考えが、先生にあるのではないかと感じる。進路指導の先生も含めて意識改革に取り組んでいただけると有難い。
- ・受け入れる経営者側にも、若い人を育てられないという現状もあるので、経営者の教育にも取り組んでいただけると有難い。
- ・給与が低いから結婚、出産、育児につながらないという日田市の現状があるので、賃金を上げていくという取り組みも必要だと思う。

(E委員)

- ・アンケート調査の結果から、商工会地域では廃業を検討している率が高いということが出ているが、やはり旧日田郡には後継者がいない、商圈も成り立っていないという状況にある。廃業の相談はあっても創業の相談はないという状況。
- ・木工や家具の技術の伝承について、企業にまかせるのではなく、公的なところが後継者の育成に取り組んでほしい。

(F委員)

- ・この素案のとおり、基本方針にそって施策が実行できれば、市内の中小企業が本当によくなるだろうと感じた。
- ・あとは連動性がどこまであるのか見る必要がある。指標や数値目標については、総合戦略の数値をそのままということだったが、関連する数値なのか分かりにくいところもあったので、今後、意見の提出にあたって見直してみたい。

(委員長)

- ・たくさん意見を出していただいて、委員のみなさんの手作り振興計画としてほしい。
- ・今回の指標の大半は親計画である総合計画にあるものであり、それはそれで構わないが、見える化するひとつの手法として、各施策に対してこの計画独自の指標を作ってもいいと思う。毎年、推進会議を開催して進捗管理するのであれば、そうした指標を見ながら成果が確認できるようにすると効果も上がると思う。

※ 次回の第3回推進会議の日程は、11月22日（火）14時からに決定。